

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

自ら学ぶ賢い生徒の育成
～基礎学力の定着をめざして～

＜本年度の学力向上策＞

◆学習指導の充実(指導力の向上と「学びがい」のある授業の工夫)

(1)よい授業づくり

①授業規律の徹底:教師の声を聞き取りやすくする。教師の指示を短くわかりやすくする。

【「よい授業」アンケートの因子「授業マネジメント」項目別学校平均を17(昨年度後期16.9)とする。】

②基礎学力の向上:授業中に繰り返し取り組む時間を設ける。授業中に振り返る時間を設ける。

【「よい授業」アンケートの因子「基礎アップ」の項目別学校平均を17.2(昨年度後期17.1)とする。】

③授業スキルの向上:ICTを積極的に活用する。教師が授業の目標やねらいをしっかりと提示する。
教材研究の充実、効果的な教材・教具の工夫等を図る

【「よい授業」アンケートの因子「授業スキル」の項目別学校平均を16.7(昨年度後期16.6)とする。】

④アクティブ・ラーニングの積極的実践

課題解決に向け、自分一人で考える時間を設ける。課題解決に向け、友達同士で話し合う時間を設ける。自分の考えや感想を書いたり、発表したりする時間を設ける。

【「よい授業」アンケートの因子「児童生徒の活動」の項目別学校平均を16.2(昨年度後期16.1)とする。】

(2)教科会の充実

①教科会の開催(月1回)

②互いの授業参観を実施:授業参観ウィーク 6月10日(月)～6月21日(金)・9月2日(月)～9月13日(金)

(3)家庭学習の習慣化

①定期テスト前の部活動停止期間の拡大(昨年度5日→今年度7日)

②各教科において家庭学習の具体的な取組例を提示

【「全国学力・学習状況調査」の「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」の項目を50%以上(昨年度48.8%)とする。】

＜本年度の振り返り＞

(1)「よい授業」アンケート集計結果 ※1回目⇒2回目(目標値との差)

授業マネジメント 17.2⇒17.5(+0.6) 基礎アップ 16.9⇒17.6(+0.5)

授業スキル 15.9⇒16.8(+0.2) 児童生徒の活動 16.3⇒17.0(+0.9)

上記の集計結果から、よい授業づくりに向けた取組に一定の成果がみえる。ただ、教員個々の差があることは否めないため、校内研修等で互いに高め合う機会を設定していく。

(2)学校評価の「研修内容を意識した授業を展開している」では91%が肯定的な評価であった。校内研修や教科会で本校の課題(基礎学力の定着)を共有し、それに対する取組(ユニバーサルデザインを意識した授業展開)を明確にしたことが成果となってあらわれた。継続して実践していく。

(3)家庭学習の習慣化に向けて、「Iwatsuki Junior high school Learning method」(岩槻中学校学習モデル)という家庭学習の具体的な取組をまとめた冊子を作成し生徒に配付した。来年度の年度当初には保護者にも配付し、家庭との連携を図りながら家庭学習の充実を目指す。「全国学力・学習状況調査」において、家庭学習に関する項目の向上(50%以上)を来年度は達成する。

(4)タブレット型コンピュータの増設に伴い、各教科で一つ以上の活用事例報告を作成し、ICT教育の充実に努めた。来年度は、さらにICTを効果的に活用し、問題を解決するために必要な「学ぶ意欲」を高めることや、「思考力・判断力・表現力」を養う教育活動を推進していく。

